





小さな薬局から、456店舗に。 地域に寄り添い続けた想いを、次世代につなぐ。

相談役 西郷辰弘

第7期におきましては、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、継続的な物価上昇や金利上昇等の影響により、先行き不透明な状況が続きました。こうした中、消費者の節約志向は引き続き強く、小売業を取り巻く環境は厳しい1年となりました。

当期の業績は、売上高1,638億円、営業利益52億円、親会社株主に帰属する当期純利益は40億円となりました。売上高は過去最高を更新した一方で、悪天候や気温不良による既存店売上の伸び悩みに加え、新店経費の影響もあり、減益となりました。出店については、中期経営計画で掲げた70店舗には届かず、54店舗に留まりました。

既存店では、改装によるレイアウトの標準化を進めるとともに、販促や売場の固定化に取り組んだ結果、既存店売上高は前期比103.6%と前期を上回りました。セグメント別ではホームおよびフードが売上を牽引し、粗利率は概ね前期並みの水準となりました。販管費比率は計画を下回ったものの、減益要因を補うには至りませんでした。

こうした状況の中、お客様に喜んで戴ける店を作りたいという想いで、創業以来歩みを続けてまいりました。

当社は、スーパーの一角に構えた小さな薬局から始まりましたが、当初は思うようにお客様が訪れず、苦勞の連続でした。その歩みの中で常に大切にしてきたのは、地域の皆様の日々の生活に寄り添い、「薬王堂があって良かった」と感じていただける存在であり続けることでした。前期より関東エリアへも進出しておりますが、新たな地においても、創業時に抱いたこの想いを変わらず胸に、一人でも多くのお客様の役割に立てるよう取り組んでまいりました。お客様をはじめとした多くのステークホルダーの皆様にとって欠かせない企業として、当社は歩みを続けてまいります。

今般私は社長職を退任しますが、在任中に、株主の皆様をはじめ、お客様・お取引先・従業員の皆様から賜りました温かいご支援とご指導に、心より感謝申し上げます。

当社はこれからも、「地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしに貢献する」という使命を忘れず、お客様や従業員の安全を大切に、コンプライアンスを重んじた誠実な経営を新経営陣に引き継いでまいります。次代を担う新経営陣のもとで、さらなる成長と企業価値の向上が実現するものと信じております。引き続き変わらぬご支援ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



第8期は売上高1,850億円、過去最高の86店舗出店へ。 「個の成長」を力に、売上高3,000億円の実現に向けて。

代表取締役社長 西郷孝一

日頃より当社の事業活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。このたび代表取締役社長に就任いたしました西郷孝一でございます。

当社はこれまで、地域のお客様に寄り添いながら、日々の暮らしを支える商品・サービスの提供を通じて成長してきました。こうした取り組みを支えてきた創業時からの想いと歩みをしっかりと受け継ぎ、さらなる発展へとつなげていくことが、私の役割であると考えております。

一方で、ドラッグストア業界の寡占化が一段と加速し、経営環境はかつてない転換期を迎えています。

このような環境の中、当社の中期経営計画の初年度を振り返ると、出店数や売上面において厳しい局面もあり、目標達成に向けては苦戦を強いられました。しかし、この1年間で進めてきた店舗オペレーションの標準化やDX基盤の構築は、計画完遂に向けた基盤固めとなりました。これらは今後の成長を支える重要な土台であり、次の飛躍につながるものと捉えています。この基盤を携え、今期は中期経営計画の2年目という重要な節目を迎えます。

また、この過程において、社員一人ひとりの確かな成長を実感しています。「Manavi」を軸とした自主的な学びと現場での挑戦は、組織全体の力へとつながりつつあります。この「個の成長」の積み重ねこそが、当社の持続的な成長を支える原動力です。

今期は、これまでに築いてきた基盤を活かし、成果へとつなげていくフェーズです。東北エリアでのドミナント深耕や関東エリアへの進出、さらにAIやデータ活用的高度化を進めることで、事業の成長を一層加速させていきます。

第8期においては、売上高1,850億円、営業利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益40億円を見込んでいます。出店についても過去最高となる86店舗を計画しており、中期経営計画で掲げた売上高3,000億円の達成にむけて着実に取り組んでまいります。

当社は地域の皆様に「あたりまえ」を届ける企業であり続けるために、さらなる価値の創出に挑みながら、これからも前進してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

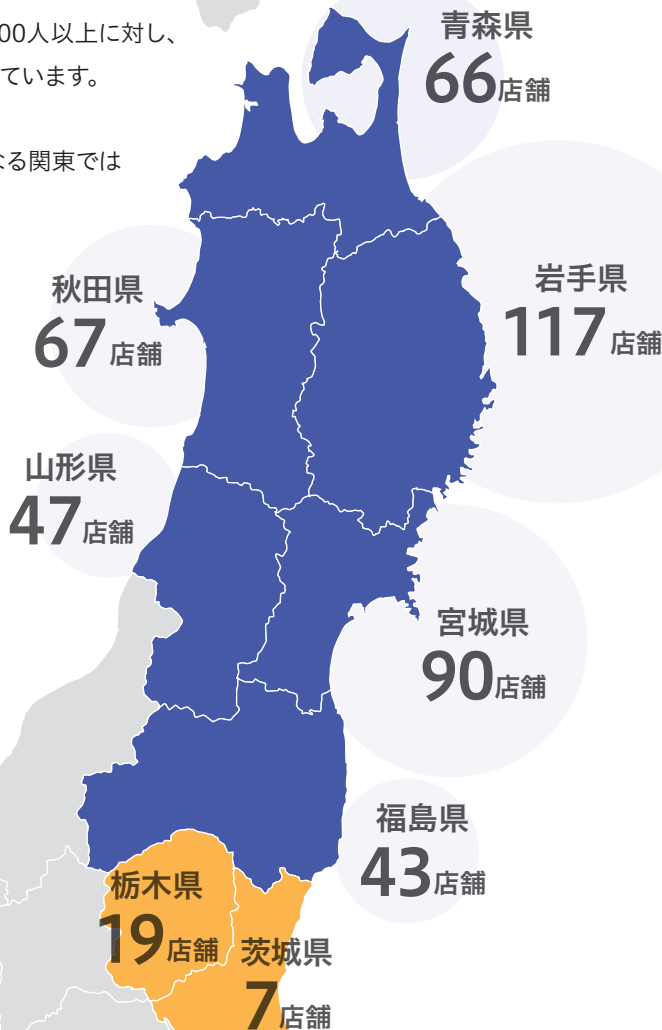
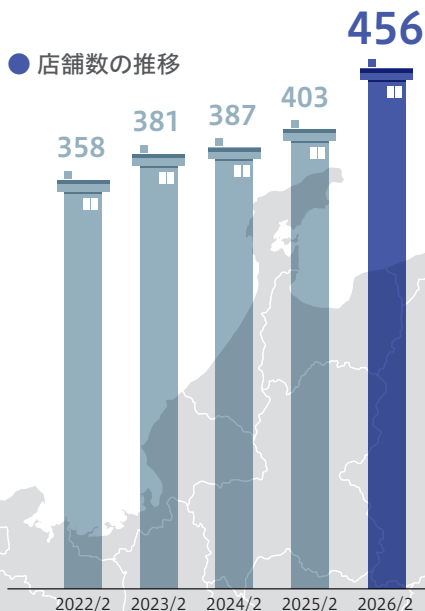
薬王堂のドミナント戦略

薬王堂は、ドラッグストアの一般的な商圈人口10,000人以上に対し、小商圈（人口7,000人）でのドミナント戦略を実施しています。今後のエリア戦略として、東北では安定的な出店と更なるドミナント強化を維持しつつ、新規エリアとなる関東では出店を一層強化してまいります。

新規出店
54 店舗
※退店1店舗

店舗数
456 店舗
2026年2月末

うち調剤併設型4店舗、
調剤専門薬局1店舗

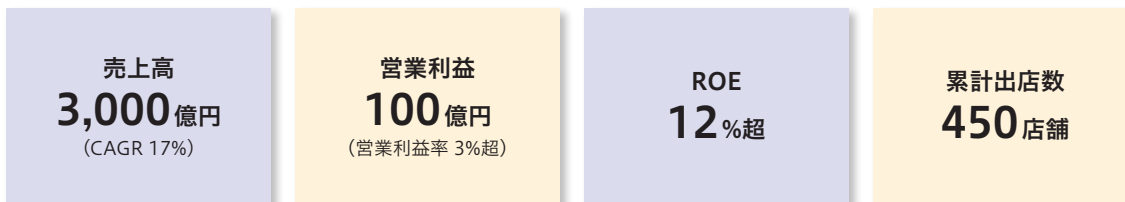


■ 中期経営計画方針

安定と変化による前進



■ 中期経営目標

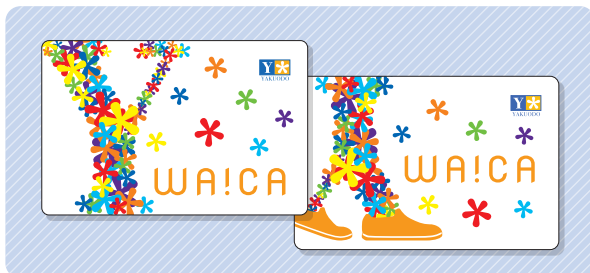


■ 重点戦略



売上・利益基盤の構築と人的資本の成長により、売上・利益の拡大／認知度向上／採用競争力向上／長期成長の実現を目指してまいります。

1. 薬王堂公式アプリの進化と多機能化



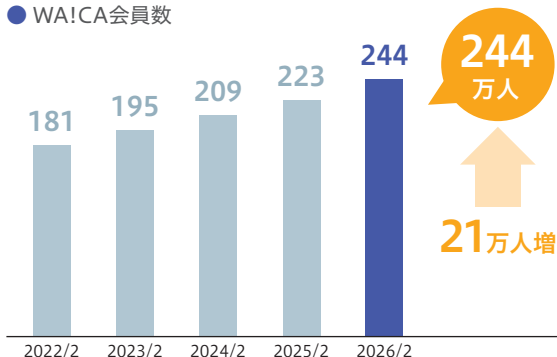
公式アプリのダウンロード数拡大に取り組み、累計ダウンロード件数は66万件を突破しました。また、「WA!CA」会員数に対するアプリ会員比率も27.1%まで伸長しております。

多くのお客様にご利用いただけるようになった背景には、WA!CA電子マネーによる決済の利便性に加え、多様なクーポンの提供や各種キャンペーンの実施が挙げられます。特に、お客様一人ひとりの購買傾向に応じて配信されるクーポンや、対象商品の購入に応じたポイント付与や割引施策が支持を得ております。

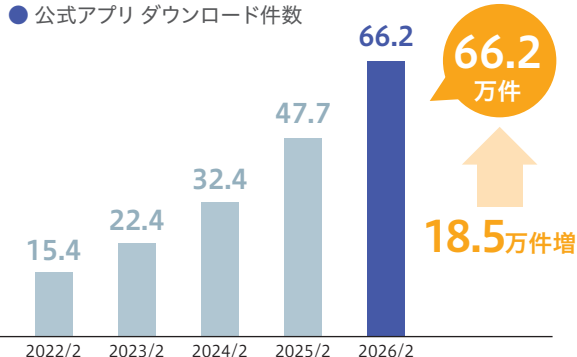
さらに、動画視聴に応じてポイントが付与される機能に加え、新たに、対象商品をゲーム感覚で探しポイントを獲得できる「お宝発見でポイント」機能や、**銀行口座から電子マネー(WA!CA)へ直接チャージ**できる仕組みを導入しており、利便性向上につながる機能拡充を進めております。加えて、「肌診断」や健康管理アプリ「KOMPASU」との連携により、日常生活のさまざまな場面で活用できるサービスへと進化しており、顧客接点の拡大と来店頻度の向上、さらには購買単価の向上にも寄与しております。

今後もアプリ機能の拡充と利便性向上を通じて、顧客体験価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

● WA!CA会員数



● 公式アプリ ダウンロード件数



2. 自社開発AI「肌診断」の進化

2025年11月に肌診断アプリを自社開発でリニューアルしました。第1弾では、化粧品接客歴10年以上のスタッフ100名の知見をAIに学習させ、「やさしく・わかりやすく・納得感のある」解説機能を導入しました。第2弾では、マルチレコメンデーション機能の導入と、お客様視点での商品カテゴリーの再設計を行いました。カテゴリーは一般的なお手入れの流れに沿って整理しており、レコメンドされた商品を自然な流れで確認できるようにしました。第3弾では、これまで活用していた汎用LLMから、肌診断に特化して自社開発したオリジナルLLM(肌診断特化型AI)へと切り替えました。これにより、お客様に寄り添った言葉で、店頭で接客を受けているかのような体験の提供が可能となりました。新規利用者は毎月平均で約1,300人ずつ増加しており、リニューアル後の総診断回数は2026年3月末時点で60,000回に達しました。今後も機能の段階的な拡充とAIの学習・改善を継続し、デジタルとリアルの両面から、お客様一人ひとりに寄り添うサービスの提供を推進してまいります。



3. プライベートブランド ALL WAY BASIC



皆様のくらしをやさしく、こちよく、支えるために生まれた薬王堂のプライベートブランド「ALL WAY BASIC (AWB)」。

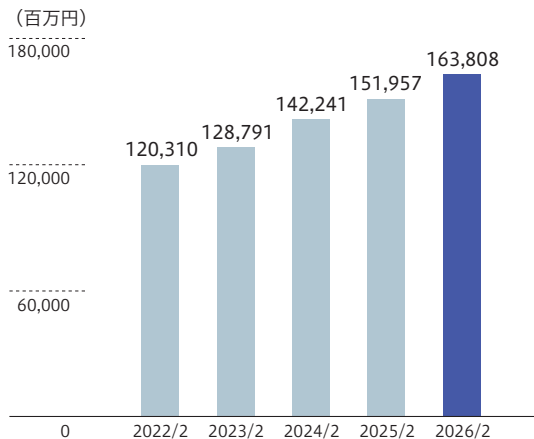
第7期は新規商品65アイテム、リニューアル商品50アイテム、計115アイテムを発売しました。

日用品カテゴリーでは、大容量でよりお得になった「AWB ソフトパッキティッシュ12P」をはじめ、「AWB 2倍巻きトイレトペーパー12P グリーン」や「AWB 個包装マスク50P」などをラインナップに加えました。

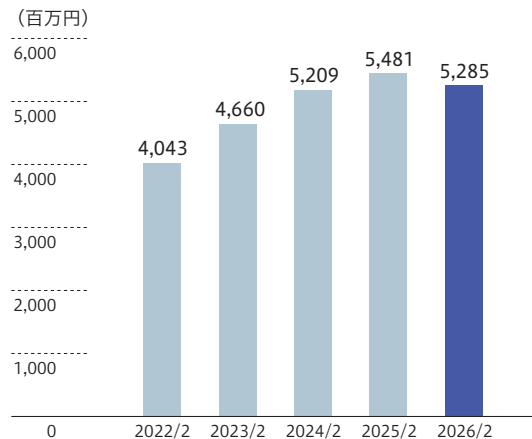
また、食品カテゴリーの新規開発を重点的にを行い、「AWB 塩ゆで枝豆ボリュームパック」「AWB 3食焼きそば」「AWB 3連ロースハム、ハーフベーコン」などは、発売以降ご好評をいただいています。

今後も品質とお求めやすさを両立したラインナップの拡大を図っていきます。

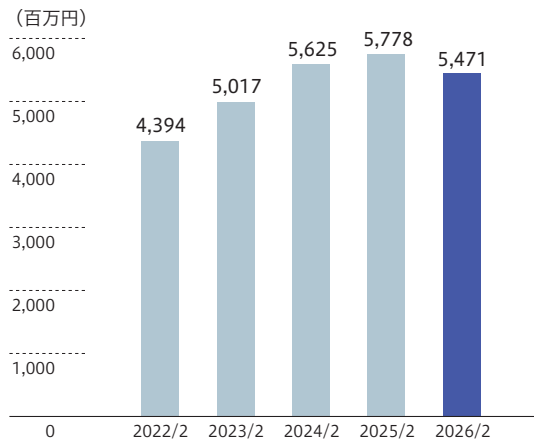
売上高



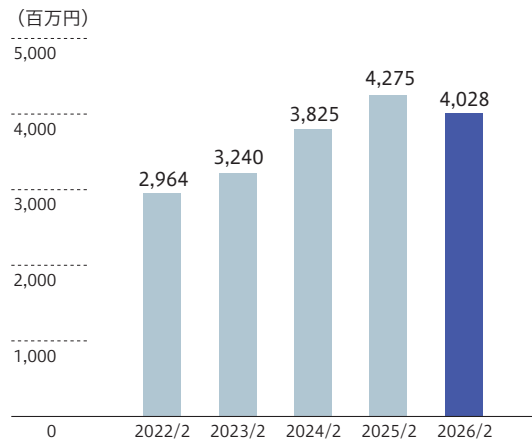
営業利益



経常利益

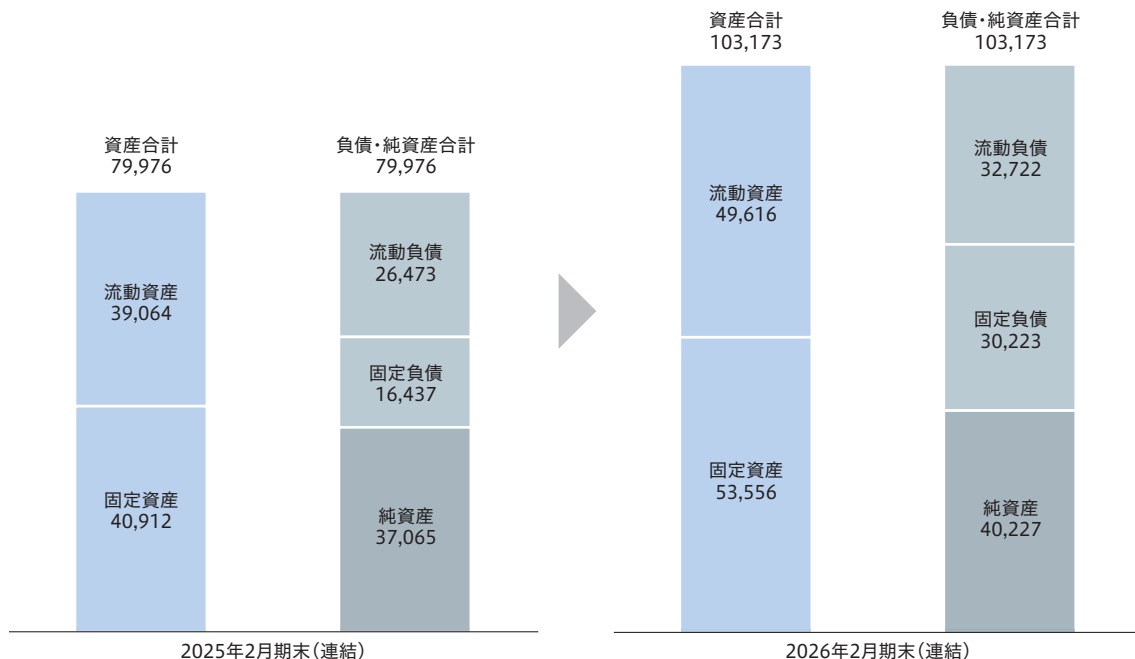


親会社株主に帰属する当期純利益



● 2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

財政状態の概要 (百万円)



● 財政状態のポイント

流動資産

流動資産は496億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ105億5千2百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金が28億4千6百万円増加、新規出店に伴う商品が60億9百万円増加したことがあげられます。

固定資産

固定資産は535億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ126億4千4百万円増加しました。主な増加要因は、新規出店に伴う建物等の有形固定資産が113億3千万円増加したことがあげられます。

流動負債

流動負債は327億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億4千9百万円増加しました。主な増加要因は、買掛金が21億9千2百万円増加したことがあげられます。

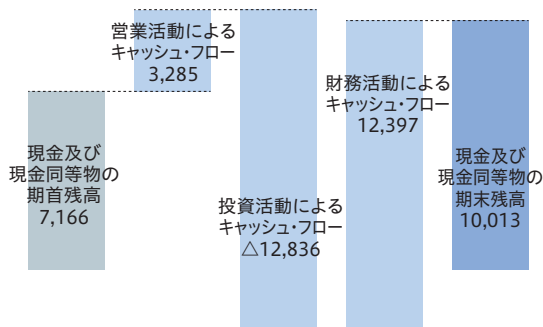
固定負債

固定負債は302億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ137億8千5百万円増加しました。主な増加要因は、長期借入金が113億9千2百万円増加したことがあげられます。

純資産

純資産合計は、402億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億6千2百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が34億7千9百万円増加したことがあげられます。

キャッシュ・フローの概要 (百万円)



2026年2月期(連結)

● キャッシュ・フローのポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は32億8千5百万円(前年同期は44億8千9百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前当期純利益が52億5千8百万円、減価償却費が34億6千7百万円ありましたが、棚卸資産の増加額が60億9百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

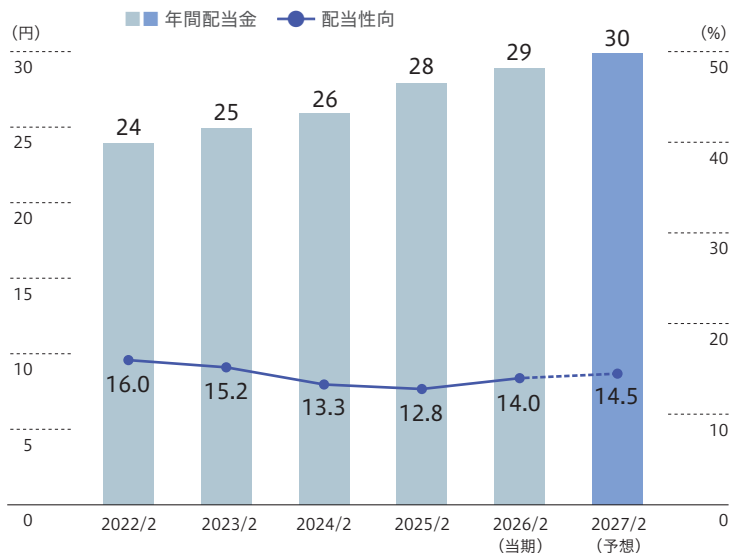
投資活動の結果使用した資金は128億3千6百万円(前年同期は45億7千2百万円の支出)となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が115億6千9百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は123億9千7百万円(前年同期は22億9千7百万円の収入)となりました。これは、長期借入による収入が180億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が41億2千3百万円あったことや、配当金の支払額が5億4千8百万円あったこと等によるものであります。

配当実績と予想

当期の配当金は、前期から1円の増配となる1株当たり29円とさせていただきます。また、今期(2027年2月期)の配当金につきましては、1株当たり年間30円を予定しております。



● 会社概要 (2026年2月28日現在)

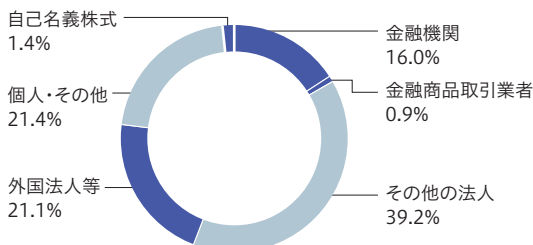
社名	株式会社薬王堂ホールディングス
所在地	岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号
代表者	代表取締役社長 西郷辰弘
設立	2019年9月2日
資本金	100百万円
売上高	163,808百万円
店舗数	456店舗
従業員	社員1,094人、臨時社員2,917人(8時間換算)
事業内容	ドラッグストアチェーンの経営ならびに調剤薬局経営

● 役員 (2026年5月22日現在)

代表取締役社長	西郷 孝一
取締役副社長 経営企画部長	西郷 泰広
常務取締役 コンプライアンス統括部長	小笠原 康浩
社外取締役	小原 公一
社外取締役	斎藤 毅文
常勤監査等委員	坂本 篤
社外監査等委員	鎌田 英樹
社外監査等委員	片野 圭二
社外監査等委員	滝浦 のぞみ

● 株式情報 (2026年2月28日現在)

発行可能株式総数	61,200,000株
発行済株式の総数	19,740,219株 (自己株式数289,229株)
株主数	4,439名



● 大株主 (2026年2月28日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社TKコーポレーション	7,584,000	38.99%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,406,500	7.23%
株式会社日本カストディ銀行(信託口、信託口4、信託A口、年金信託口、年金特金口)	1,009,200	5.19%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	897,100	4.61%
薬王堂ホールディングス従業員持株会	646,356	3.32%
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/25/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	470,000	2.42%
INTERACTIVE BROKERS LLC	407,400	2.09%
西郷 喜代子	398,000	2.05%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	285,258	1.47%
CACEIS BANK, LUXEMBOURG BRANCH / UCITS - FULL TAX	252,300	1.30%

● 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から毎年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
利益配当金	毎年2月末日
受領株主確定日	その他必要がある場合は予め公告し基準日を定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話:0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告の方法により行います。但し、やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載します。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社薬王堂ホールディングス

<https://www.yakuodo-hd.co.jp>

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号

電話:019-621-5027

